

授業科目名	子育て支援	担当教員名	小島 知子
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	保育の内容・方法の理解に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 1単位 (15時間)	授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	1年 前期 (1期) / 年間開講数 2講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 乳児院、児童養護施設、児童家庭支援センターにおける児童福祉施設勤務（児童指導員、臨床心理士）、および幼稚園キンターカウンセラー、小中学校スクールカウンセラー、教育センターなどの実務経験を生かし授業を行う。
授業の概要 及び 全体目標	本講義では、子育て支援の意義・目的・役割を事例を通して実践的に学ぶことを目的とする。保育園や幼稚園、認定こども園が子育て支援の重要な社会資源として期待が高まっていることを理解し、子どもの支援のみならず保護者においても必要な支援を行えるように、事例を通してより実践的に学びを深める。子育て経験がほとんどない中で、子育て当事者である保護者のイメージを持ちにくいことも想定されるため、授業ではできる限り多くの事例を用い、イメージを持ちながら子育て支援の実際について考察を深められるようにする。 【授業を通して経験すること】 ・子育て相談を疑似体験する ・保育者としてだけでなく、保護者の立場から物事を考える		
到達目標	①保育者に求められる子育て支援における基礎的理解ができる。 ②相談援助者としての子育て支援におけるコミュニケーションスキルを身につけることができる。 ③子育て支援の実践について他者と意見を交わし、総合的に解決方法を探求することができる。		
テキスト	使用しない		
参考書・ 参考資料等	①「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」（株式会社チャイルド本社） ②二宮祐子 萌文書林 2018「子育て支援 15のストーリーで学ぶワークブック」		
成績評価の方法	①平常点（受講態度）25% ②課題（授業後のレポート・授業内での発表、グループワークへの取り組み）25% ③理解度・到達度チェック（筆記形式）50%		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	・事前学習については授業時に指示する。 ・事後学習については毎回、コメントシートを提出する。 ・オフィスアワーは授業前後の時間帯で受け付ける。		
授業計画	授業の内容		到達目標番号
第1回	授業ガイダンス 子育て支援とは何か		①,②
第2回	子育て支援が求められる社会的背景		①
第3回	子育て支援の現状 母親の苦しさや母親を追い詰めるもの 脳科学の視点から（視聴覚教材を使用）		①,③
第4回	事例を通じた家族関係の理解（ジェノグラムの作成）		①
第5回	子育て支援の基本的価値・倫理		①
第6回	子育て支援の基本的姿勢		①
第7回	子育て支援の基本的技術		③
第8回	これからの子育て支援について 理解度・到達度チェック（筆記形式）		①,③